

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 令和3年11月11日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
小牧市民病院 緩和ケアセンター	
企画名	
ホスピス緩和ケア週間	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
なし	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2021/10/4~10/8
実施場所	小牧市民病院 診療棟2階
参加人数	不明
具体的な実施内容： ・総合受付、会計などのスペースにあるデジタルサイネージを利用して普及啓発動画を流した。 ・診療棟の人通りが多い場所を選択し、普及啓発動画を繰り返し流した。パーティションを使用し、「緩和ケアについて」「当院の緩和ケアについて」「当院緩和ケア病棟の紹介」のスライドを作成し、掲示した。自由に持ち帰っていただけるように机上にリーフレットやパンフレット類を置いた。 ・オレンジの風船でオレンジバルーンプロジェクトをアピールした。	
効果について(アンケートの結果など)	
・外来から会計窓口に行く時に通るエリアで実施したことで多くの方の目に触れる機会となった。患者様やそのご家族だけではなく院内スタッフも足を止め見ていた。通常は来場者数が把握できるように、参加された方にシールを貼ってもらうなどしていたが、COVID-19感染拡大防止の観点よりということで今回はなしとした。そのため、人数等の把握はできなかった。 ・持ち帰ったパンフレット数は把握し、患者様やご家族のニーズを知ることができた。	
その他報告	
〈持ち帰りパンフレット数〉 わた史ノート(小牧市作成) 20冊 「重要な面談に望まれる患者さんにご家族の方へ」 22冊 「がんとわかったときからはじめる緩和ケア」 18冊	

「がん患者とそこご家族の方へ」 10冊
「がんの薬をはじめるとき」 23冊
『がんになったら「緩和ケア」』 15冊
「がんになったら、親に伝える？ 伝えない？ どう伝える？」 14冊
「僕たちのサバイバーシップ1」 11冊
「僕たちのサバイバーシップ2」 13冊
「僕たちのサバイバーシップ3」 13冊
「つらいときがまんしなくていいの」 12冊
「がんはどんな病気」 11冊
「わたしはどうしたらいい？」 11冊
「誰もわかってくれない！」 6冊
「手をつなぐ」 6冊
「わたしだって知りたい」 3冊
〈持ち帰りリーフレット数〉
緩和ケア外来 12冊
緩和ケアチーム 8冊
緩和ケア病棟 8冊

公式ホームページ（緩和ケア.net）への掲載について

掲載してもよい · 掲載しないで欲しい

※掲載を希望される場合、個人情報の取扱いにご注意ください



小牧市民病院の緩和ケアについてご紹介

診療棟2階 エレベーターホールで
掲示しております。
どうぞお立ち寄りください。

掲示期間:2021年10月4日(月)~10月8日(金)





小牧市民病院の緩和ケアについてご紹介

2020年10月10日の「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice & Palliative Care Day)」と合わせて10月4日(日)～10(土)は「ホスピス緩和ケア週間」です。

緩和ケアの普及啓発活動の一つとして小牧市民病院の緩和ケアについてご紹介します。ご自由にご覧ください。

掲示期間:2020年10月5(月)～10月9日(金)



がんによる苦痛をやわらげる**緩和ケア**とは

がんは、日本人の死因で最も多い病気です。
現在、2人に1人ががんにかかると言われていています。
このように身近な病気になった、がん。
あなたの大切な方も、がんで悩んでいるかもしれません。

がん患者さんは、がん自体の症状のほかに、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」は、がんと診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアです。

おぼえてください、「**緩和ケア**」。
あなたの大切な方のために、あなた自身のために。

緩和ケアは

- 痛みや、そのほかの苦痛となる症状を緩和する。
- 生命を重んじ、自然な流れの中での死を尊重する。
- 死を早めることも、いたずらに遅らせることもしない。
- 死が訪れるまで、患者さんが自分らしく生きていけるように支える。
- 患者さんの治療時から、患者さんと死別した後も、ご家族を支える。
- 患者さんやご家族に、心のカウンセリングを含めたさまざまなケアをチームで行う。
- 生活の質(クオリティオブライフ:QOL)を向上させ、前向きに生きるちからを支える。
- がん治療の初期段階から、外科手術、化学療法、放射線療法などと連携しながら、緩和ケアを行う。

WHOホームページ: <http://www.who.int/en/>を意識

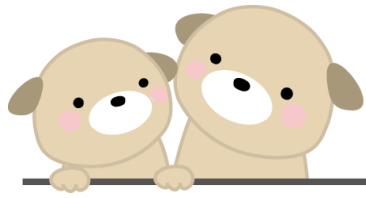
緩和ケアとは、がん患者さんの苦痛を取りのぞき、患者さんとご家族にとって、自分らしい生活を送れるようにするためのケアです。

緩和ケアは「がんの治療」と一緒に始めます

緩和ケア」という言葉に、どのようなイメージを持っていますか？
「がん治療ができなくなった方への医療」「がんの終末期に受けるもの」と思っている方も、まだまだ多いようです。

緩和ケアは、**がん治療の初期段階**から、**がん治療と一緒に**受けるケアです。緩和ケアを受けると、こんなメリットがあります。

- がん治療中に経験する苦痛を伴う症状（吐き気、嘔吐、痛み、倦怠感など）が緩和され、がん治療に取り組む力がわいてきます。
- 患者さんやご家族の不安や心配事など、心のつらさをやわらげるために医療スタッフがお手伝いをします。
- がんと診断されたことによる社会的差別（就職・解雇問題など）への対応について、スタッフが一緒に考えます。



小牧市民病院の緩和ケア

緩和ケアとは？

がんなど病気を抱える患者さんやご家族のからだのつらさ、きもちのつらさ、生活面でのつらさなどのといった様々なつらさ(苦痛)をやわらげて、「自分らしく生活していくこと」を支援するために、医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・栄養士・ソーシャルワーカー・理学療法士・ボランティアなど多くのスタッフが協力して行う取り組みです。

小牧市民病院では、自宅療養中から入院治療中まで専門的な緩和ケアを幅広く提供できるような診療体制をとっています。

【自宅療養中の患者さん】

1) 緩和ケア外来

(外来で主治医と連携して支援していきます)

【入院中の患者さん】

2) 緩和ケアチーム

(一般病棟で主治医や病棟スタッフと連携して支援していきます)

3) 緩和ケア病棟

(緩和ケア科医師が主治医となり入院治療・ケアを行っていきます)



緩和ケアの
スタッフ

緩和ケア病棟

緩和ケア病棟看護師
(緩和ケア認定看護師)

看護補助者

病棟事務

緩和ケア病棟ボランティア

緩和ケア科医師

精神科医師

薬剤師(がん専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師)

看護師(がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師)

管理栄養士

公認心理士

医療ソーシャルワーカー

緩和ケア外来

緩和ケアチーム



1: 症状緩和(つらさを和らげる)のための外来

【当院通院中の患者さん】

がんの治療を行っている主治医に「緩和ケア外来受診希望」とお伝えいただき、受診についてご相談ください。

☆診察日 月～金曜日 午前中 完全予約制

【他院通院中の患者さん】

がんの治療を行っている主治医に「小牧市民病院緩和ケア外来受診希望」とお伝えいただき、受診についてご相談ください。緩和ケア外来の予約は、主治医からの紹介状が必要になります。

☆診察日 毎週火・水曜日 午後 完全予約制

2: 緩和ケア病棟への入院・転院のための外来(緩和ケア病棟入棟面談)

緩和ケア病棟では、つらさを和らげるための緩和治療は積極的に行いますが、抗がん剤投与など「がんと闘う治療」は行いません。

がんの治療を行っている主治医と今後の治療方針について相談の上、緩和ケア病棟入棟面談外来の受診をご検討ください。

【当院通院中の患者さん】受診日については主治医とご相談ください。

【他院通院中・入院中の患者さん】緩和ケア病棟入棟面談の予約には、主治医からの紹介状が必要になります。

☆診察日 毎週火・水曜日 午後 完全予約制

緩和ケアチームとは？

緩和ケア科医師、精神科医師、がん性疼痛看護認定看護師、薬剤師（がん専門看護師、緩和薬物療法認定薬剤師）、公認心理師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士など多職種で構成された医療チームです。

一般病棟（緩和ケア病棟以外）に入院中の患者さんご家族のからだのつらさ、気持ちのつらさ、経済的な問題など「生活していく上でのあらゆる問題」の解決に向けた支援を主治医や病棟スタッフと連携して行います。



精神科医師

主治医

緩和ケア科医師

薬剤師

不安

眠れない

痛みが辛い

看護師

気分が落ち込む

医療費のことが聞きたい

お薬について聞きたい

管理栄養士

息苦しい

患者さん・ご家族

自宅で過ごしたいけど、
どうすればいいんだろう

食欲がない

吐き気がある

家族の不安・心配
事を聞いてほしい

気持ちがつらい

医療ソーシャルワーカー

公認心理師

緩和ケアチーム



緩和ケアチームによる支援をご希望の方へ

当院入院治療中（一般病棟）で
緩和ケアチームによる支援を希望される方は、
主治医または担当看護師にご相談ください。

主治医からの依頼により直接緩和ケアチーム
が病室へ伺います。



緩和ケア棟

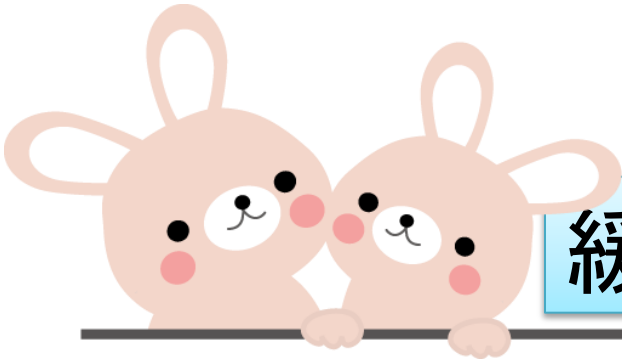
14床 全室個室

無料個室 8床

有料個室 6床

(個室使用料1日6600円)





緩和ケア病棟の理念



- ひとりひとりの思いを尊重した支援を行います
- 患者さんのご家族の抱える「からだのつらさ」や「こころのつらさ」が和らぐように支援を行います
- 患者さんのご家族にとって大切な時間を少しでもご自宅で過ごせるように、地域の医療機関と連携して支援を行います



緩和ケア病棟玄関





ボランティアさんが四季折々に飾り付けてくれます

※新型コロナウイルス感染防止のため活動休止中です

玄関からの廊下

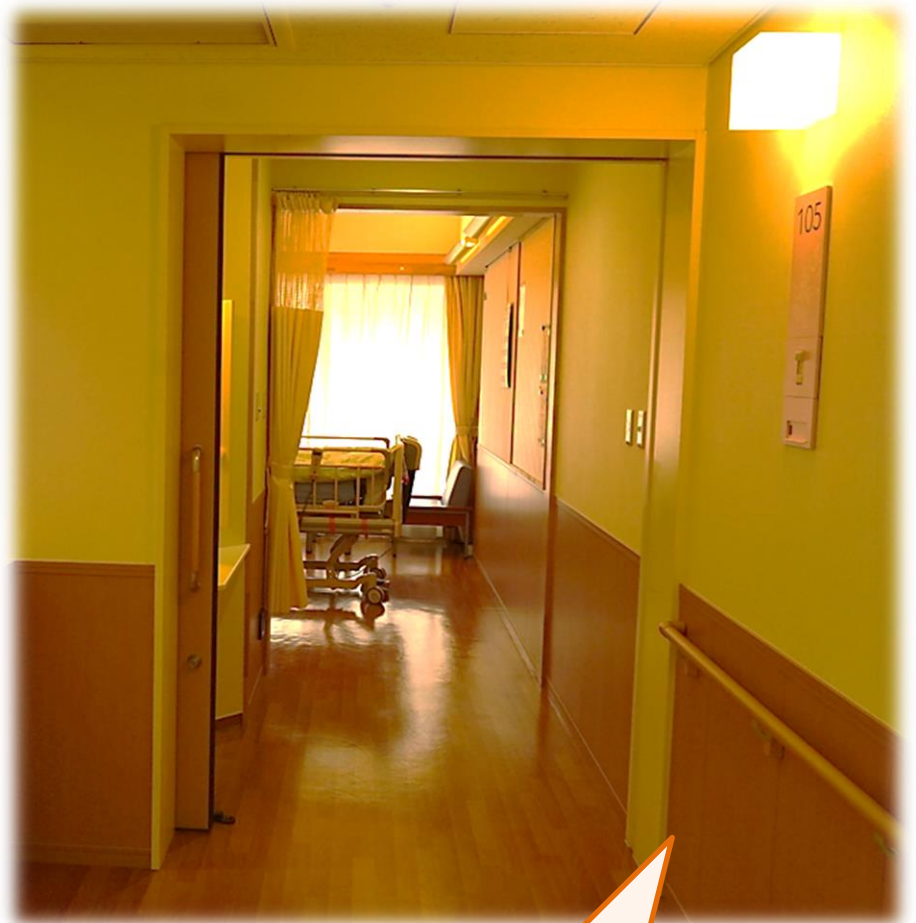


10月はお月見





病室入口



病室番号もそれぞれ違うお花のデザインになっています。



病室内(有料個室)
1日6600円(税込)



設備:テレビ、冷凍冷蔵庫、ソファベッド
個室内にトイレや洗面台などが完備
されています。





病室内(無料個室)



設備:テレビ、冷蔵庫(1日220円)

個室にトイレや洗面台などが完備されています。





ベッドから見える風景

窓が大きく、お庭も見えます。
気候がよければ、テラスに出られます。



天井が高くなっており圧迫感がありません。天窓があることで自然光が入りやすいです。





中庭





デイルーム



ベッドのままでも皆さんで過ごせるように
広い空間となっています。
本もたくさん置いてあります。



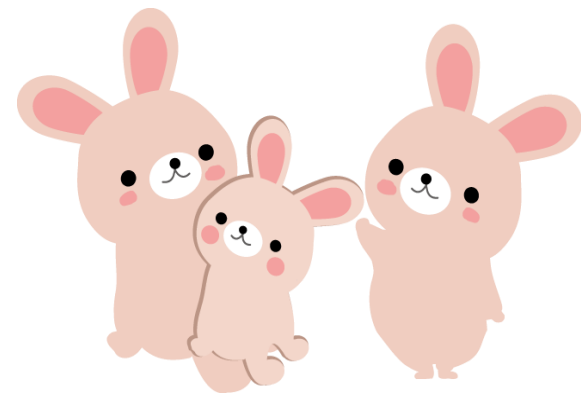
浴室



寝たままで入れるお風呂です。



浴槽をまたがなくても
入れるお風呂です。





ファミリーキッチン



冷蔵庫、IHコンロ、電子レンジがあり簡単な調理ができます。
かき氷も口当たりが良く人気があります。



家族室と相談室





中庭



ご自由に
お持ち帰りください

緩和ケア科

